

安住寺だより

# 禅の心

第135号

発行 安住寺 (年4回発行)  
臨濟宗南禅寺派  
大分県杵築市大字南杵築379  
〒873-0002 TEL 0978-62-2680  
URL <http://www.anjuuji.net>  
編集 矢野明玄  
印刷 安住寺

## 平成23年 棚経日程

八 月	8日	月	宇佐市・安岐町・国東町
	9日	火	下原・桃山・宗近・中平・本庄
	10日	水	東下司全域
	11日	木	別府市・大分市・猪尾・守江・茅場
	12日	金	守末・中ノ原・鴨川・日出町全域
	13日	土	西上・北台・札ノ辻・煙硝倉・菊本・須賀
	14日	日	南台・杉山・錦江・魚町・本町・谷町・城山 錦城・北浜・弓町・天満・西新町・古野
	15日	月	永代橋・西大内山全域・東大内山全域 藤の川全域・丸尾

本年度は、上記日程にてお参りいたします。お昼に初盆供養や仏事もありますので、時間のお約束はできません。13~15日は三人、他は二人で参ります。ご不在とかで、どうしても都合の悪い場合は連絡して下さい。可能なかぎり、調整いたします。

暑中お見舞い  
申し上げます

平成二十三年 盛夏

住職 矢野明玄  
責任役員 土谷岩明  
責任役員 矢野岩明  
総代 矢野明玄  
同 徳治玄

### がんばろう ニッポン

東日本大震災でお亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々の一日も早い立ち直りを願い、檀信徒の皆様と共に、出来るだけの支援を続け、一日も早い復興を念じましょう。

### 復興を念じて

東日本大震災の発生から四ヶ月余りが経ちました。今なお行方不明の方が五千三百人余りもいると聞きました。お盆までには全員が仮設住宅に入れるかどうか微妙な状況です。仮設に入居できても、今度は孤独になり、新たな問題が発生しています。

原発事故の終息は一向に見えてきません。現場で作業に当たっている人達は、被爆の恐怖、猛暑と戦いながら連日必死の覚悟で任務に励んでいます。

また、想定外の地域から肉牛の内部被爆の問題が発生しました。何とか風評被害に立ち向かい、安全な食

料供給を目指していたのに、ただただお気の毒としか言えません。早く検査体制を整え、安全な食品を供給して欲しいものです。津波の被害に遭っていない地域が立ち直らないと、東北地方の復興は成し得ません。国の支援も早く体制が整うことを念じています。

家族や多くの知人を亡くされた方々の心情や何もかも失い、ローンを抱え、明日の生活の目途さえ立たない日々を過ごしておられる方を思う時に慰めの言葉さえ見つかりません。「頑張つて下さい」は、とても言えません。只々念じながら、できる支援を続けたい。

### 施食会 (おせがき)

八月三日(水)八時より

おとき 九時と十一時半より

お参りの方は、おときの時間を決めてお知らせして下さい。(地区世話人さん経由)

## 諸事随想

去る平成二十三年五月十九・二十日、新たに完成した、本山南禅寺会館に於きまして、第十四回住職副住職研修会が十八名の参加のもと開催されました。



今回の研修テーマは、「創建南院国師七百年大遠諱と布教」「東日本大震災とどう向き合っていくか」を大きなテーマとして研修を行いました。

三月十一日の大震災以来、多くの方の関心と想いが、被災された方々、或いは先の見えない原発問題に傾注されていた最中の研修会でした。

研修では被災された、仙台市青葉区、臨済宗東福寺派・光明寺副住職 大内頭龍師に『東日本大震災の現状』と題しまして講話を頂きました。

震災直後の混乱した様子。何日も続く停電の中、暗い夜道をお寺にあった蝋燭を配って回ったこと。特に宗教者として、多数の犠牲者と残された遺族の間で活動された体験には、考えさせられました。

現地では、菩提寺の和尚さんが亡くなったり、お寺自体が津波で流されたり倒壊したり、或いは葬祭場葬儀社さんも機能しない。そんな中、火葬場には荼毘を待つ棺と遺族が溢れかえる。遺族の中にはなんとか、お経をあげて火葬を希望したいと思う方もあり、仙台市仏教会が火葬諷経をし、遺された方々の話を聞く「心の相談室」のボランティアをされたそうです。

しかし火葬諷経にあたっては、仙台市行政は、特定の宗教関係者が火葬場に来て宗教行為をしてはいけないとの指導で、難しい問題もあったとか。その後火葬が追いつかずに、一時土葬を強いられる状況となり、ここでの諷経も行ったそうです。身元が断定できない御遺体もあり、故A・236などと書かれた看板の前でお勤めする際には、胸の詰まる思いがしたと言います。

最終的には四百人近い震災物故者の御霊前で諷経をされたそうです。

諷経のボランティアだけでなく、がれきの撤去、炊きだしと活動は多岐にわたったそうです。

震災後五十日間の厳しい状況を、僅かな時間の中でお話し下さいました。

そして、講話の最後をこう締めくくられました。お釈迦様は「天上天下唯我独尊」と言われ、おのおのが違う生き方でもいいと言いが、こと今回の震災の復興に当たっては、様々な関わり方がありますが、仏心一つにまとめ心一つに復興に向かいたいとお話されました。



翌二十日には、参加された和尚様方と京都市内を、東日本大震災義援托鉢に回り、僅かながらの浄財を仙台市仏教会を通じて、被災者の為にと送りました。

奇しくも、創建南院国師七百年大遠諱のスローガンは「衆生済度の実践・拽石搬心」であります。

多くの方が、がれきの撤去を手伝い、救援物資を運ぶ、その姿に衆生を救おうと願う南院国師様の御心と同じ仏心を感じます。

## 《御報告》

修行時分にお世話になりました、岐阜県多治見市の名刹「虎溪山永保寺」本堂・庫裡が、平成十五年九月十日の火災以来、七年九月月の歳月を経て、この六月十九日に落慶式を迎えることが出来ました。

永保寺は一三三三年に夢窓国師により開創され佛徳禅師を開山とするお寺で、国宝の観音堂・開山堂を始め国指定名勝庭園をもつ由緒ある寺院で、修行道場にもなっています。



安住寺からも、この本堂・庫裡再建にあたりまして、浄財を寄付させていただきましたいております。ここに感謝の意を込め御報告させていただきます。

多治見市は陶器の町で、風光明媚な地であります。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 玄徳和尚代の主な行事・事業記録

年	履歴・職歴等	行事や事業・出来事
S38	4月安住寺入門	不肖（玄徳）が安住寺にご縁を頂いてから、この度住職を退任するまで、僣越ながら経歴と寺の行事・事業等を表にしてみました。檀信徒の皆様には、それぞれのかかわりの中で思い出してみたい。全てを掲載できていませんが、本当に良く支えて頂いたと、改めて感謝申し上げます。頂いたご縁の尊さと、ご厚誼の有難さを痛感致しております。まだまだ多少の余命と元気も有りますので、寺のため、社会のためにも恩返しをしたいと存じます。 H23.7.記
S39	杵築高校入学	
S40		
S41		
S44	3月正眼短大卒業 4月正眼寺掛搭	
S45	正眼寺より帰山 結婚	
S46	2月万寿寺へ再掛搭	
S47	長女誕生	
S48	2月安住寺住職就任24歳	
S49	長男誕生	
S50		
S51		
S52	次男誕生	3月玄海和尚13回忌・天心居士25回忌他法要 7月安住寺だより第1号発行 8月第5回文殊講 11月村上天心遺作展開催
S53		3月第6回文殊講 12月玄海和尚7回忌 12月不用品交換会開催
S54	4月保護司就任～現在 10月第24部宗務支所長～H6	3月第7回文殊講 4月高山・名古屋方面旅行 8月第8回文殊講 10月山門屋根葺き替え工事完了 観音堂・位牌堂建築募金開始と工事着手
S55		7月観音堂立柱式 開山開基7百年遠諱記念事業予算3500万円に補正 9月観音堂上棟式
S56		1月玄道和尚17回忌 10月観音堂位牌堂落成式、開山・開基7百年忌、管長御親教
S57		門前石垣塙改修工事完了370万円 第1回チャリティーバザー開催
S58		4月独秀流御詠歌始む 4月南禅寺本光国師350年遠諱授戒会参拝41名 8月本山得度式明玄参加 12月第2回チャリティーバザー開催 寺報23号より廣石碩田氏の色紙プレゼント始む
S59	5月杵築更保連事務局長～H6	2月16日～宇和島市西江寺閻魔祭参拝 4月独秀流全国大会南禅寺へ5名初参加 11月玄海和尚13回忌法要
S61	大正保育園監査～H10 杵築少年剣道部後援会長1年	8月の供養盆おどりに千灯供養が加わる 11月村上天心居士33回忌・第2回遺作展開催
S63		9月秘仏観音ご開帳 9月玄道和尚25回忌・玄海和尚17回忌法要 門・塙・駐車場・車庫・風呂・隠寮改修・浄化槽工事等施工
H1		寺報47号よりワープロによる編集を始める
H2		4月南禅寺開山大明国師7百年遠諱授戒会参拝39名 本堂の改築について協議始む
H3	杵築高校剣道部後援会長1年	本堂改築を決定＝予算2億2千万円、平成6年着工予定 11月設計管理者（榊満生堂宮企画設計）決定
H4		本年秋に本堂着工を決定 3月本堂請負業者入札決定（榊佐伯建設＝1億7,790万円） 4月庫裏屋根替工事着工 9月本堂解体始まる
H5		1月本堂立柱式 3月上棟式 8月新本堂にて施餓鬼法要実施 9月完成記念能楽奉納
H6	5月保護司会保護区事務局長～H12 5月杵築市社協評議委員～H9 9月宗務支所長退任	4月南禅寺塩澤大定管長を迎えて本堂落慶式挙行政 総事業費2億6,840万円
H7		再建記念碑・鎮守堂完成 5月本堂完成報告南禅寺参拝39名 建設委員に対し本山より表彰 第17回供養盆踊り・第10回千灯供養
H8		11月玄道和尚33回忌、玄海和尚25回忌法要
H9		永代供養塔「やすらぎの塔」着工 3月雲仙普賢岳噴火罹災者慰霊の旅37名
H10	6月（社福）ひまわり評議委員 10月南禅寺派宗会議員～H14	3月第2回一泊研修旅行山口・萩・防府方面40名 5月やすらぎの塔完成（永代供養塔）
H11		3月第3回研修旅行八代・菊池・小国町方面
H12		3月第4回一泊研修豊後西国33寺参拝・9月に後半寺院参拝 11月第10回チャリティーバザー開催
H13		3月第5回研修旅行福岡市方面
H14	4月（更）大分県更生保護協会評議委員～現在	2月第6回研修旅行宇和島市方面 10月村上天心居士50回忌 11月安住寺にて南禅寺管長御親教開催 本年より供養盆踊り・千灯供養中止
H15		3月観音寺山竹伐採焼却
H16	10月南禅寺信徒部長就任	4月南禅寺亀山法皇700年遠諱授戒会参拝45名 8月明玄帰山・副住職就任 11月玄海和尚33回忌
H17		9月晋山記念事業・山門・鐘堂屋根替工事着手 11月南禅寺開山忌参拝31名
H18	6月南禅寺財務部長兼任	9月秘仏観音中開帳 12月外便所改築完成
H19	1月（更）大分保護会理事～現在	11月第7回一泊研修旅行萩市・周南市方面26名





夏山過雨 廣石碩田先生筆

### 南院国師七百年大遠諱授戒参拝と南禅会館宿泊利用のお知らせ

南院国師七百年大遠諱授戒会は明年4月9日ですが、参拝と旅行参加の申込は最終段階になりました。授戒を申し込まれている方は、お早めに参加申込をして下さい。9月末で人数を確定させていただきます。(授戒の申込は締切ました) また、南禅会館が完成し宿泊を受け付けていますので、所用やご旅行で京都へお出かけの方は、是非ご利用下さい。シングル素泊まりで5400円、3-4名では5000円です。直接お申込下さい。(朝食800円・夕食2500円～)



#### 南禅会館

京都市左京区南禅寺福地町

TEL 075-771-2846



### 今年 初盆会 を迎える方々。

生駒 一 殿	94歳	南台 東
青木 富士子 殿	85歳	新興
池山 よし子 殿	94歳	北九州市
古田 由布代 殿	88歳	西大内山
矢野 勝子 殿	83歳	川之江市
松浦 ヤス子 殿	85歳	守末
木付 太久美 殿	89歳	日出町
岩元 アサエ 殿	88歳	みよし市
加藤 信行 殿	77歳	東下司
西 タマエ 殿	91歳	鴨川区
植木 倭子 殿	90歳	世田谷区
木付 久子 殿	85歳	日出町
須賀 良夫 殿	80歳	西下司
園田 キミ 殿	90歳	杉山
江藤 和男 殿	63歳	東大内山
須賀 正夫 殿	96歳	西下司
手嶋 亨 殿	93歳	友清
加藤 スミエ 殿	83歳	東下司
三好 アヤ子 殿	93歳	下原
首藤 清治 殿	72歳	魚町
清末 孝一 殿	80歳	西大内山
中野 利彦 殿	80歳	煙硝倉
三好 嘉壽男 殿	85歳	下原
植木 サダ 殿	99歳	大分市

謹んでお知らせし、皆様と共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

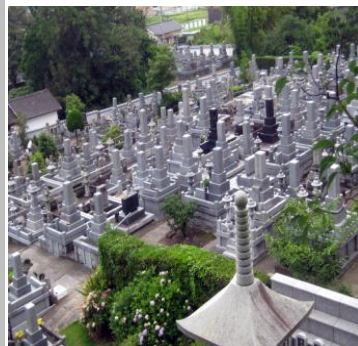
### 水祭り (初盆) の用意



初盆会は別名「水祭り」とも言います。「おせがき」と同じ供養の仕方になります。そこで左の写真のように、洗米とお水を用意します。水には小さな葉のついた小枝を添えます。同じ器でなくても結構ですが、空の皿もご用意下さい。

### 護持会費 墓地管理料のお願い

七、八月は、会費と境内墓地の管理料の納付時期となっております。よろしくお願致します。



和尚さんのことをどう呼びますか？

質問がありました。

新任職 〓 新命和尚 (しんめいおしょう)  
 前任職 〓 閑栖和尚 (かんせいおしょう)

### 行事予定

八月中 ・写経 ご詠歌休み  
 九月七日・ご詠歌  
 九月十七日・ご詠歌・観音講  
 九月二十二日・写経  
 九月下旬・敬老会  
 観音講は午後一時からです。写経と同じくどなたでも参加できます。変更する場合がありますのでお問い合わせ下さい。